

令和2年度塩竈市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

イ. 給水状況

本年度の年間総配水量は、大倉ダム水系の 6,236,890 m³及び仙南・仙塩広域水道用水供給事業からの受水量 1,028,825 m³の合計 7,265,715 m³ (19,906 m³/日) で、前年度 7,257,260 m³ (19,829 m³/日) に比較して 8,455 m³ (77 m³/日) 0.12%増加しました。また、一日最大配水量は 24,035 m³ (2月20日) で、前年度 22,751 m³に比較して 1,284 m³ (5.64%)増加しました。

年間有収水量は、6,330,107 m³ (17,343 m³/日) で、前年度 6,257,600 m³ (17,097 m³/日) に比較して 72,507 m³ (246 m³/日) 1.16%増加しました。

年度末における使用栓数は 26,310 栓で、前年度 26,289 栓と比較して 21 栓増加し、有収率については、87.12%で、前年度 86.23%に比較して 0.89 ポイントの増となりました。

ロ. 建設改良の状況

○ 改良事業

主な改良工事として、権現堂低区配水池フェンス設置工事、多賀城市下馬五丁目、多賀城市下馬二丁目・塩竈市錦町、大日向町地内の計 3 路線で口径 50～150mm、総延長 206.2mの配水管布設工事を施工及び作業車の入替を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策としてサーマルカメラ 4 台を購入しました。

○ 第7次配水管整備事業

本事業は、ライフラインの強化と濁水発生箇所の解消及び有収率の向上と重要路線の耐震化を目的に、水道の安定供給を図るものです。なお、実施期間は令和元年度から令和6年度までの6か年計画とし、給水区域内の布設後40年以上経過した配水管の布設替えを実施する事業です。本年度は、宇庚塚、北浜二丁目、藤倉三丁目、多賀城市笠神二丁目・丸山一丁目地内の計4路線で口径50～100mm、延長720.8mの配水管布設工事と藤倉三丁目地内外の舗装復旧工事を行いました。

○ 第2次老朽管更新事業

本事業は、国の交付金制度（生活基盤施設耐震化等交付金）を活用し、ライフラインの強化と、管路の耐震化を目的に、令和元年度から令和5年度までの5か年計画で給水区域内の布設後40年以上経過した送配水管の布設替えを行い、安定供給を図る事業です。本年度は、新浜町三丁目地内の路線で口径250mm、延長670.9mの送水管布設替工事と新浜町三丁目地内外の舗装復旧工事を行いました。

○ 災害復旧事業

本事業は、東日本大震災に係る水道施設等の災害復旧費（上水道施設）補助金の交付決定に基づき実施する事業です。本年度は、令和元年度繰越分として、舟入一・二丁目、桂島、野々島地内の計3路線で口径50～250mm、延長1871.9mの送配水管復旧工事を行いました。なお、北浜四丁目、舟入二丁目、新浜町一丁目地内の計3路線については、翌年度へ繰越しました。

○ 排水処理施設及び電気計装類更新事業

電気計装類更新事業は、梅の宮浄水場及び配水池の電気計装の老朽化に伴い電気設備等を更新する4か年事業（平成30年度～令和3年度）で、本年度は、浄水場と各施設を結ぶ通信装置、市内配水池の操作盤、流量計、水位計等の設置が完了しました。

ハ. 財政状況 * () 内は税込決算数値

本年度の収益的収入は、1,572,854,495円（1,751,202,635円）で、前年度の1,548,395,000円（164,703,938円）に比較して24,459,495円（1.6%）増収となりました。これは、新型コロナウイルス感染症に伴う水道料金の減額措置により、給水収益が28,914,810円減収しましたが、新型コロナウイルス感染症の財政支援として他会計補助金28,780,000円、下水道負担金3,798,852円及び受託工事で3,505,012円増収したこと等によるものです。

本年度の収益的支出は、1,281,251,813円（1,334,246,792円）で、前年度の1,293,972,148円（1,395,217,902円）に比較して12,720,335円（1.0%）減少しました。これは、営業費用で9,123,426円、営業外費用で4,461,218円減少したことによるものです。

これらの結果、本年度は291,602,682円の純利益を生じ、利益剰余金は1,955,427,629円となりました。

本年度の資本的収支は、総収入714,323,649円（うち仮受消費税453,750円）に対し、総支出1,426,044,851円（うち仮払消費税88,240,769円）となり、収入不足額711,721,202円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額87,787,019円、過年度分損益勘定留保資金101,325,265円、当年度分損益勘定留保資金327,693,579円、減債積立金94,915,339円、建設改良積立金100,000,000円で補てんしました。

※新型コロナウイルス感染症に伴う水道料金の減額について

令和2年6月検針7月請求分から令和2年8月検針9月請求分（3か月分）の水道料金の基本料金30%の減額を行いました。

なお、その財源として上記のとおり他会計補助金を受けております。